

# スクラム十勝

参加費  
無料

# シンポジウム2017

## 帯広市民大学講座 道民カレッジ連携講座

### 「持続的な生産活動を目指す十勝の農畜産業」

日時

2017. 10. 25 (水) 13:45~16:45 (開場 13:15)

場所

とがちフラザ 2F 視聴覚室

開会挨拶

13:45~13:50

独立行政法人家畜改良センター十勝牧場 場長 櫻井 保

スクラム十勝構成機関の発表

13:50~16:40 (休憩/総合質疑含む)

「GAPIは農業経営の改善に寄与するか」

(国研)農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点 大規模畑作研究領域  
ICT農業グループ 主任研究員 若林 勝史

「環境とアニマルウェルフェアに配慮した家畜管理」

独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第一課 種牛係長 齋藤 邦彦

「採草地の植生改善の取り組み(これまでと今後)」

(地独)北海道立総合研究機構畜産試験場 基盤研究部飼料環境グループ  
研究主幹 出口 健三郎

「環境に配慮した作物病害防除技術」

(地独)北海道立総合研究機構十勝農業試験場 研究部 生産環境グループ  
研究主任 栢森 美如

「立植式長いもプランターの畝追従装置の開発」

公益財団法人とがち財団 事業部 ものづくり支援課(機械・電子グループ)  
研究員 松原 慎吾

「堆肥化技術の最前線 — 帯広畜産大学の技術を利用した現場普及 —」

国立大学法人帯広畜産大学 環境学研究部門 農業環境工学分野  
准教授 宮竹 史仁

閉会挨拶

16:40~16:45

(国研)農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点  
寒地畑作研究監 吉永 優

主催/スクラム十勝(国立大学法人帯広畜産大学、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター芽室研究拠点、地方独立行政法人北海道立総合研究機構畜産試験場、地方独立行政法人北海道立総合研究機構十勝農業試験場、公益財団法人とがち財団、独立行政法人家畜改良センター十勝牧場)

共催/帯広市教育委員会、フードバレーとがち推進協議会、十勝農学談話会

# スクラム十勝シンポジウム 2017

## 『持続的な生産活動を目指す十勝の農畜産業』

スクラム十勝を構成する6つの機関は、フードバレーとかち推進協議会の構成機関として「食」と「農林漁業」を柱とした産業振興に取り組んでいます。このような中、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける持続可能性に配慮した農畜産物の調達基準が示されました。

そこで、今回のシンポジウムでは「**持続的な生産活動を目指す十勝の農畜産業**」をテーマに、各機関の取り組みを紹介します。

### シンポジウム会場

#### とかちプラザ 2F 視聴覚室

帯広市西4条南13丁目1番地



【定員】 150名

【申込締切】 10月18日(水)

参加を希望される方は、下記参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAXまたはメールにて、お早めにお申し込み下さい。

### お問合せ・連絡先

スクラム十勝シンポジウム2017 事務局

独立行政法人

家畜改良センター十勝牧場(担当:河野)

河東郡音更町駒場並木8-1

電話 : 0155 - 44 - 2131

Eメール : nlbc\_tokachi@nlbc.go.jp

## スクラム十勝シンポジウム2017 参加申込書

【申込締切】 平成29年10月18日(水)

家畜改良センター十勝牧場 宛 FAX : 0155 - 44 - 2215 Eメール : nlbc\_tokachi@nlbc.go.jp

所属機関名			
連絡先	住所:		
	電話:	FAX:	
	Eメール:		
出席者	所属部署	役職	氏名

※ ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営事務以外には使用いたしません。